

たかす議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

3回目の休日議会開催

第4回定例会について

2

8名の議員が一般質問

中村議員・齊藤議員・日下議員・中家議員
青野議員・舟根議員・大石議員・片山議員

6

先進地3町を視察

総務文教・経済福祉常任委員会合同所管事務調査

16

クイズに挑戦!

くじゃくそうクイズ 次回定例会案内ほか

19

No. 173

平成30年12月定例会号

発行:北海道鷹栖町議会
編集:広報広聴常任委員会

2019年2月5日 発行



新成人のみなさん、おめでとうございます!



3回目の休日議会！



2015年12月
10回目の
議場コンサート

議場に足を運んでいただくきっかけになればと始めた議場コンサート。2015年は10回目となる開催でした（写真はたかす吹奏楽団が出演した9回目のもの）。

議場に親んでもらうことは出来たと判断しました。現在のところ議場コンサートはこの回が最後となっています。

プレイバック

今期の取り組み

平成30年第4回議会定例会は、3回目となる休日議会を行いました。

当日は荒れ模様の天候にも関わらず、14名の方に傍聴にお越しいただきまし

た。

これからも多くの方に傍聴に来ていただけるよう、議会の活性化に努めていき

ます。

平成27年5月2日から4年間の任期を経て、平成31年5月1日に、現在の鷹栖町議会議員としての活動は一区切りとなります。平成31年に行われる統一地方選挙により、新たな議会構成になります。



開かれた議会を目指し



2017年12月
2回目の休日議会
日曜日に開催

日曜日に開催し、17名の方に傍聴にお越しいただきました。前回同様、8名が一般質問を行いました。

アンケートでは「やりとりがわかりやすい」「今後も休日議会を続けてほしい」「声が聞き取りにくい」などのご意見をいただきました。議場の音響設備はその後、更新しています。



2016年12月
初の休日議会
50名以上が傍聴

議場コンサートからさらに進んで、議会に足を運んでいただきたということ、先進地視察や町との協議を重ね、鷹栖町初の休日議会を土曜日に開催。8名が一般質問を行いました。傍聴者は50名以上でした。

アンケートによると半数以上の方が初めての傍聴とのことでした。

平成30年 第4回定例会

議案6件、全会一致で可決

意見書

慎重な農畜産物関税協議を 日米物品貿易協定交渉に関する意見書

日米物品貿易協定交渉に関する意見書を提出しました。意見書の趣旨は以下のとおりです。

提出議員 舟根輝好
賛成議員 中家 彰

意見書は衆参両議長、内閣総理大臣のほか、関係大臣に提出しました。

意見書の全文はウェブページでも確認できます。



日本政府は、米国政府が検討していた輸入自動車の追加関税を見送る代償として、新たに二国間による物品貿易協定交渉の開始に合意しました。米国政府の強硬姿勢によって、更なる高い水準での農畜産物関税の削減・撤廃等の交渉を求められる恐れがあることから、毅然とした姿勢を貫き、安易な農畜産物関税協議は行わないこと。

定例会の あらまし

第4回定例会は12月8日から3日間の会期をもって開催しました。8名の議員による一般質問(6〜14ページ)、補正予算や条例改正などを審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。
また、総務文教・経済福祉常任委員会の委員長から10月の所管事務調査の報告がありました(16〜17ページ)。1件の意見書を各関係機関に提出しました。



定例会の議案一覧は速報版に掲載しています。



条例

未婚のひとり親保育料軽減 特例で寡婦(寡夫)とみなす改正

「鷹栖町就学前子どもの教育・保育等に関する条例」の一部を改正。変更は2点です。

① 関連する政令、内閣府令の施行に伴い、未婚のひとり親を地方税法上の寡婦(寡夫)とみなし、保育料を算定します。

② 地方税法等の改正に伴い平成30年度分から指定期市の市民税の税率が6%から8%に変更されましたが、保育料は旧税率(6%)を用いて算定します。

Q 青野議員 どのような立場で事業に従事したかという規定はありますか。

放課後児童クラブ支援員の資格条件を変更しました。5年以上放課後児童健全育成事業に従事した方は放課後児童支援員の対象となりました。なお、教員免許の取り扱い「資格を有する者」から「免許状を有する者」と規定が明確になりました。

A 国では検討されていますが、正式な決定にはなっていません。

Q 大石議員 国において支援員を1か所に2人以上配置する基準の緩和が検討されていますか。

A 放課後児童支援員の補助などとしてということであり、お手伝いなどは含まれません。勤務状況なども考慮します。

条例
放課後児童クラブ支援員の資格条件を変更
国の基準等の変更に伴う改正



放課後児童クラブ カンタラモッチ

補正

小中の大会出場支援を増額
平成30年度予算4会計で補正

今年度、一般会計は6回、国保会計は2回目、公共下水道会計と水道事業会計は1回目の補正です。

燃料高騰による燃料費の追加 723万円

放課後児童支援員処遇改善補助金の追加 223万円

〈主な補正内容〉
障害福祉サービス給付費の追加 3000万円
小中学校各種大会等参加補助金の追加 175万円

(万円未満四捨五入)

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		8446万円	59億1379万円	59億9825万円
内訳	総務費	4515万円	定住促進対策事業費用の追加ほか	
	民生費	4015万円	障害福祉サービス給付費の追加ほか	
	衛生費	△32万円	健康診断委託料の減額、燃料費の追加ほか	
	農林費	80万円	銃猟免許取得補助金の追加ほか	
	土木費	△833万円	PCB廃棄物処理委託料の減額ほか	
	教育費	701万円	各種大会等参加負担補助金の追加ほか	
特別会計	国民健康保険	53万円	8億319万円	8億372万円
	公共下水道	2万円	1億9330万円	1億9332万円
水道事業会計		34万円	人件費の追加ほか	



北海道中学校スキー大会で優勝した鷹栖中学校の柝谷天寧さん

一 般 質 問

8名の議員が町政を^{ただ}質す！



「地域を語ろう会」のご意見をもとに担当課と協議、
問題点を整理し一般質問しました

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。今回は、議会活性化の取り組みのひとつとして、8月から9月に開催した「地域を語ろう会」で町民の皆さまからいただいた意見をもとに、一般質問を行いました。詳細は10ページに、また、この孔雀草と同時発行の「地域を語ろう会報告紙」をご覧ください。

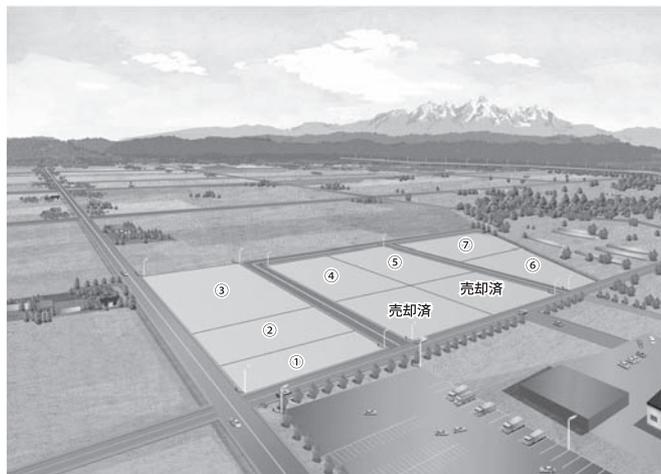
「語ろう会」から一般質問へ

質問議員	質問内容	頁
中村 公憲 議員	・企業誘致の進捗状況は	7
斉藤 哲子 議員	・教職員の勤務時間管理、どのように ・町営住宅の水回り早期に改修を	8
日下 義朗 議員	・町職員の時間外勤務軽減を ・メンタルヘルスの実態と対策は ・新生児難聴検査を公費負担で	9
中家 彰 議員	・公民館イベントで地域の活性化を ・新規就農者への就農支援を	10
青野 敏 議員	・再生可能エネルギーの取り組みは	11
舟根 輝好 議員	・水稻直播栽培の推進を	12
大石 隆 議員	・外国人労働者受け入れ拡大の考えは ・消費税増税 影響への対策は	13
片山 兵衛 議員	・災害時業務継続計画の策定は	14

「地域を語ろう会」のご意見を集約し作成した質問はこちら

企業誘致の進捗状況は

町長 新たな企業誘致には至っていない



たかす工業団地の面積は 19.8ha
現在7区画を販売中です

企業の誘致は、本町にとって地域経済の活性化や、雇用機会の拡大の他、安定した税収の確保にもつながる重要な施策です。

町長はじめ、担当部局も積極的に取り組み、努力していると思いますが、数字としての成果がありません。平成27年度に策定された「鷹栖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重要業績評価指標（KPI）として新規参入企業

数7社が掲げられています。計画最終年度まで残りところ1年あまりです。取り組みの進捗状況と、達成見通しは。

答弁 鷹栖町土地開発公社が保有する工業団地への誘致を念頭に取り組みを進めています。

企業が進出しやすい条件を整えるため、条例の改正、助成項目の追加や助成率の拡充をしてみました。

また民間企業のノウハウやネットワークを活かし効果的な活動をするため企業誘致推進事業を委託し取り組んできましたが、残念ながら新たな企業誘致には至っていません。

質問 商談中、または交渉継続中の企業は現在何社ですか。

答弁 現在2社と交渉を進めています。

質問 企業誘致は、誘致側と企業の信頼関係が高まらねばなりません。現在は産業振興課長と担当係長の2名体制ですが、地域おこ

し協力隊を活用し専従に加える方法もあるのでは。

答弁 企業誘致は非常に繊細で、秘密裏に進めなければならぬ部分もあるもので職員が責任を持って進めていくのが筋と考えます。

質問 企業推進事業委託先の道銀総研からの情報を庁内検討し、企業訪問、商談となります。その経過は。

答弁 まず可能性のある100社を抽出、町と打ち合わせし交渉余地のある企業23社に絞り、道銀総研が訪問。そのうち、非常に関心の高い1社は町も一緒に訪問交渉しました。

質問 1社だけではとても寂しい、何が原因なのか。

答弁 働き方改革や昨年の大雪により道内企業の業績が急激に悪化してしまいました。役場単独では4社訪問しています。

質問 旭川市は直近5年間で12社の企業誘致をされました。本町にできない訳はありません。達成度が低い事業は強化策を検討することになっています。企業誘致に関する強化策は。

答弁 政策ヒアリングを年2回、定期的に委託業者と打ち合わせ企業訪問、交渉など地道に活動して成果を上げるため努力します。



中村 公憲 議員

教職員の勤務時間管理、どのように

教育長

ＩＣカード等を活用したシステムを導入



小学校の職員室

学

教職員の勤務時間管理について、

タイムカードなどによる集計のシステムが必要とされていますが、本町の対応は。

答弁

教育長 今年度中にＩＣカード等を活用したシステムを導入予定です。

質問

ＩＣカードを使うことで、どのように勤務時

間の縮減につなげる考えですか。

答弁

業務の見直し等、超勤時間を減らせるよう学校内で検討していきます。

質問

学校に寄せられる地域・保護者の様々な意見や要望を、学校がしっかりと把握し、組織として対応するために、学校電話にナン

バーディスプレイと録音機能をつけることを提案します。合わせて留守番電話も設置してはどうでしょうか。

答弁

ナンバーディスプレイについては、現在使用している電話機で対応可能なので導入します。

留守番電話については、児童生徒の緊急事態への対応もあるので、慎重に検討します。

町営住宅の水回り早期に改修を

質問

北野メロディー団地の台所・トイレ・風呂等水回りの老朽化が進んでいます。改装が必要な時期にきているのでは。

答弁

町長 公営住宅の改修は、社会資本総合整備

総合交付金を活用し計画的に進めています。

台所など表面的な劣化に加え、給排水管についても今後、改修が必要と認識しています。改修には多額の費用がかかるため財源の確保、工事期間中の入居者への対応など慎重に計画を立てる必要があります。それまでは緊急的修繕を実施していきます。

質問

掃除が終わっているにも関わらず、お風呂が匂うところがあります。毎月リース代を払って利用しているのであり、緊急に処理するべきでは。

答弁

長時間使用していないことにより、空気や水が停滞し湿気などが原因で匂いが発生していると思われます。今後は、定期的に換気を実施し、対応していきます。

質問

台所も風呂もトイレも一緒に工事するから高額な予算が必要となるのでは。部分的に少しずつ改修していく考えは。

答弁

国の補助金を使うので、公営住宅ごとに全体でやっていくのが一番効率的です。そのような計画を立てていく考えです。



齊藤 哲子 議員

町職員の時間外勤務軽減を

町長 目標時間を設定し取り組む



こころのサポート講座は職員のメンタルヘルスの研修としても取り組んでいます

鷹栖町職員の時間外勤務の実態

	職員数	手当額	総時間数
27年度	66名	4140万6千円	1万9944時間
28年度	67名	4151万3千円	2万332時間
29年度	70名	4388万2千円	2万812時間

働 き方改革の真の目的は生産性の向上です。町職員の過去3年間の時間外勤務の実態と手当総額は。

答弁 上記の表のようになっています。

質問 時間外勤務の軽減策を講ずるべきと考えます。本町ではどのような取り組みをしていますか。

答弁 「鷹栖町職員の総労働時間短縮に関する基本方針」に基づく取り組みを適正な人事配置で、国や他自治体の取り組み事例を参考に町職員の働き方改革を進めます。

質問 時間や経費の数値目標を設定しての取り組みが肝要では。

答弁 時間外勤務月45時間、年間360時間を超えないよう取り組みます。超えた場合は、業務の見直しも含め検討します。

メンタルヘルスの実態と対策は

質問 町職員における長期休業者を含むメンタルヘルス不調者の近年の推移と対応状況は。

答弁 過去5年間でメンタルヘルスの不調を理由に4名が長期病気休暇を取得しています（1名復職、1名退職、2名病気休暇中）。メンタルヘルスの研修や早期相談体制を図るとともに、自身の心の健康状況等の把握をするためメンタルヘルスチェックを実施しています。

新生児難聴検査を公費負担で

質問 本町での新生児難聴の実態と検査の公費負担に対する基本的な考え方は。

答弁 旭川市内の分娩を取扱う医療機関のうち、新生児聴覚検査を実施しているのは4病院です。出産された医療機関が検査を行っている場合は受診せずに退院することも多く、本町の新生児聴覚検査の受診率は約65%です。

平成31年度から公費負担による検査実施ができるよう検討いたします。



日下 義朗 議員

公民館イベントで地域の活性化を

教育長

計画があれば惜しみなく支援する



中央地区の盆踊り大会

地

域が活性化している。人とのつながりが重要な。一方で、つながりの機会の確保が課題になっています。

人が集まるきっかけを創るため、各地区で住民が100万円を自由に使い、新たな公民館イベントを生み出せるようにすることを

提案します。

また各地区を結ぶ公共交通機関を利用し、地区間の人のつながりも創ります。私たち議員も積極的に参加していきます。

答弁 教育長

地域づくりの中心的作用を担う方々が公民館運営委員として熱意を持って事業の企画・運営に携わっています。課

題解決のための行程こそが重要と考えています。公民館イベントにて、地域住民の人と人とのつながりを大切にしたい事業は支援したいと考えています。

質問

毎年1地区ずつ順次開催するなどの方法もあるのでは。

どの年代層も、地域の中で孤立しないように生きること望んでいます。そのための方策が必要です。

答弁

地域の中で、本当に今何が必要か、何をしなければいけないか、皆さんが考えていると思っています。

全く100万円を出さないのではなく、何か計画があれば、惜しみなく支援したいと思っています。

新規就農者への就農支援を

町でも推進してはどうでしょうか。

質問

4月から鷹栖町農業交流センター「あつたかファーム」が開設され、4人の研修生を受け入れていきます。

答弁 町長

ハウスリース事業は新規就農者の就農支援の具策のひとつです。また野菜生産振興対策と併せて制度設計に向けて農協など関係機関と協議を重ねていきます。住宅については、空き家、町営住宅などを活用していきたいと考えています。

新規就農者の就農支援として先進地では、施設と住宅をセットにしたリース事業を活用しています。長期的には町の負担は少額で、その分、就農者の定着に向けたきめの細かいサービスができることとなります。

関係団体との綿密な連携が必要になりますが、鷹栖



中家 彰 議員

再生可能エネルギーの取り組みは

町長 CO2 吸収源の保全・排出量の削減を進める



新しい鷹栖地区住民センターの太陽光パネル

本 町では平成22年「鷹栖町地域新エネルギービジョン」を策定し、「基幹産業の振興促進」「公共施設の新生エネルギーの改善」「住民の環境意識」など、環境保全の推進が計画されています。

答弁 町長 将来に向けた再生可能エネルギーの取り組みは、低炭素化社会実現に向けて重要な課題です。

質問 災害発生時の避難場所では、電気が使用できない事が安全で安心につながる最低条件であります。現在の避難施設に停電時にも対応できる再生可能エネルギー設備を整備しては。

答弁 自治体の保有する公共施設では、災害発生や避難警報が発令された際、防災拠点としての機能を備え、電気や通信のインフラが途絶えた場合でも照明や暖房、情報収集のための通信機器の電源確保等、最低限の機能維持が必要です。防災拠点となる公共施設等には、太陽光発電システム

本町の立地条件や産業構造では利用できる再生可能エネルギーが限定的で、二酸化炭素吸収源の保全や排出量の削減の取り組みが重要と考えています。

今後は、森林環境税による森林の整備、公共施設での省エネ化を進めます。排出量の削減および一般家庭での削減に向けた啓蒙も重要と捉えています。

ムは有効な方法であると考えますが、天候に左右される補完的な電力であり、全ての公共施設に太陽光発電システムを導入することは財政的に難しい状況です。

当面は避難施設での非常電源としては発電機等を利用し、照明や暖房・通信機器の確保に努めたいと考えています。

4年 総合学習の時間
地球温暖化防止への私たちのアクション
4年 組 名 名

1. 自分たちの地球を助け、地球温暖化防止に役立てよう。

名前	
性別	
学年	

2. CO2削減アクション計画の目標も、チェックカードから目標達成に向けて自分たちの目標もつけて実施しよう！自分の目標も、書いてみよう。

わたしは

をやってみたい。

環境学習で使うシートの例

質問 地球温暖化問題と再生可能エネルギーについて、地球温暖化の仕組み・原因・環境に与える影響など具体的な対策への理解を深め、地球温暖化防止に向けた環境教育を教育現場でも行うべきでは。

答弁 教育長 環境問題は大変重要な課題であり、児童生徒が環境について理解を深め、環境を守るための行動をすることが大切です。

今後も再生可能エネルギーに関する授業を行い、環境問題について理解を深める学習を継続します。



青野 敏 議員

水稲直播栽培の推進を

町長 技術研究に対する支援を検討する



水稲直播作業の様子

20ページの「わたしの一言」には実際に水稲直播に取り組んでいる村田さんの寄稿文を掲載しています。



農 業者の数はここ10年間で419戸から287戸へ減少し、1戸当たりの平均面積は約13haを超えています。100人程度で1戸当たり30haを耕作する、それがまさにここ10数年以内には現実になることが予想されます。

営農、大型機械の導入など、作業の省力化も重要です。水稲耕作時の春作業の軽減策として水稲直播栽培が有効ですが、本町での直播栽培の取り組みは10戸と少なく、情報共有なども個人対応です。水稲直播栽培の推進で、30ha規模の水稲経営の実現と春作業の大幅軽減、経費

削減効果による経営の安定化が図られます。新規就農者が水稲栽培に取り組む際のステップになる効果もあると考えます。

水稲直播栽培について①次世代の担い手に積極的に推進していく。②普及所・農協などの協力で講習会を開き技術の向上につなげる。③生産者の情報共有で10a当たり収量600kgを目指す。

答弁 このような考えは。水稲栽培方法は、現在、移植が主流ですが、水稲直播栽培は春作業の軽減に大変有効な手段の一つと考えられます。

生産技術の技術指導などは生産者とJAや農業関係機関が連携し進めていくことが最良と考えます。播種機等の機械導入の際

は国などの補助金を活用する事を含め、支援をしていきます。

質問 農家の耕作面積の増大と農地維持に関する現状認識と今後の対策についての考えは。

答弁 今ある農地をしっかりと守ってきたいと考えています。新規就農者対策としては、農業交流センターを使いながら、町・農業者・農業関係団体と一緒に考えていきます。

質問 わが町には農協が2つあるので、町が主導することが必要と考えます。

直播栽培の技術は年々進歩しています。これを50戸くらいで取り組めるよう推進していく、そのような意気込みは。

答弁 空知地域などの先進地の情報入手を含め、技術研修をJA・普及所と一緒に両JAが一体となり、町が連携支援する形を考えています。

質問 天候による収量減少に対する支援の考えは。

答弁 技術研究に対する支援は検討しますが、収益に対する助成は現状では難しいと考えます。



舟根 輝好 議員

外国人労働者受け入れ拡大の考えは

町長 事業者と協議しながら対応していく



さつき会では外国人の介護人材の採用を検討

少 子高齢化で、働き手不足が社会問題になっていきます。

求人募集をしても人が集まらず、若い人は大都市へと集中し、地方では深刻な状況です。

外国人労働力を活用して、今後ますます深刻化する労働力不足を見通した取り組みが必要では。

答弁 町内事業者では既に外国人技能実習生を受け入れています。優秀な介護人材を確保す

るため、旭川福祉専門学校のある東川町が中心となり、上川管内の事業所や、福祉施設に参加を呼びかけ、外国人介護福祉人材育成支援協議会を設立し、外国人の介護人材の養成に努めていく事としています。

本町の福祉施設からの要望もあり、町としても参加を検討しています。

質問 外国人労働者受け入れには、個々の会社だけでなく、監理団体が大きな役割を果たすのでは。

答弁 現在の外国人技能実習制度では実習生の受け入れは許可を受けた企業単独と監理団体が実施するものに分かれています。国で議論されている受け入れについては、動向を注視しながら検討していきま

されています。

答弁 公共施設の使用料は、法令等の制約があるものを除き近隣市町の同種料金や収支コストなどを考慮してききました。

消費税増税になった場合、町内の消費活性化と税負担が増す企業への対策が必要では。

平成26年4月の消費税率5%から8%への改定時は、翌年の10月に10%へ改定が予定されていたので増税分相当額の転化を見送りました。

質問 プレミアム付き商品券の発行やキャッシュレス決済による消費者へのポイント還元等の対策が国で検討されています。商工会や商店会等と協議しながら、町民の生活や町内企業、地域経済への影響を最小限になるように努めます。

しかし、地域経済がいまだ厳しい状況のもと、消費税が増税されることは町財政の負担増でもあり、町民生活にも負担増になりますので、慎重に判断していきます。

質問 公共施設の利用料などへの影響は。

消費税増税 影響への対策は

質問 2019年10月の消費税8%から10%への引き上げについて盛んに議論



大石 隆 議員

災害時業務継続計画の策定は

町長 31年度中の策定に努める



各家庭でもライト、ラジオ、バッテリー、アルミシートなどを常備しておくことが必要です

などそれぞれの課の事情も考えなければなりません。策定に際し、各課から集まりチームを作ることと効率的に作業できるのでは。

答弁 そのような部分も含めて現場の声を聞きながら計画を作っていくと考えます。

質問 2年前に自主防災組織の整備を進めると答弁をもらっていますが、その後の状況と今後の考えは。

答弁 自主防災組織の結成には至っていませんが、見守り活動モデル地区の町内会の中には高齢者の避難誘導訓練を実施したところもあり、共助の輪が広がっているのを見えています。

平成31年度は各地区で防災研修会を開催し、消防団とも連携し、結成に向けた取り組みを進めます。

質問 町民一人ひとりが高い防災意識を持ち、積極的に活動するのが最も望まれるあり方と考えます。

地域の防災活動に取り組み、災害時には地域の防災リーダーとして活躍する防災士や北海道地域防災マスターの資格取得を援助することで防災意識の涵養にもつながるのでは。

答弁 防災士資格は消防団の分団長以上経験者6名が特例を利用し取得していますが、北海道地域防災マスターの資格取得者はいません。

防災士は研修所が近くになく、研修期間も数日にわたり経費も多額です。自主

防災組織の核となる人材の育成と地域の防災力向上を図るため、まずは取得しやすい北海道地域防災マスターの資格取得に向けた支援に努めます。

質問 防災士資格取得者との連携についての考えは。

答弁 現在は防災訓練のときに一緒に学んでいたみたいです。新たな取り組みについても検討したいと考えます。

災害時業務継続計画

(BCP)について、10月の新聞報道では道内の56%が未策定、鷹栖町も策定のめどが立たない自治体のひとつとされています。

災害時、町の対応の基準となるもので早急な策定が望まれます。現在、どのよ

うな状態になっていますか。

答弁 防災計画や11月に作成した職員初動マニュアルをもとに、国から示されている作成ガイドも参考にしながら、平成31年度中の策定に努めます。

質問 非常時の優先業務



片山 兵衛 議員

第6回臨時会 11/26
特別功労者に打本氏

今年度5回目となる一般会計の補正、町職員の給与に関する条例改正、特別功労者の選考同意について審議し、全会一致で可決しました。

同意
元教育委員長
打本厚史氏
町特別功労者に

打本氏（63歳）は平成2年から28年にわたり教育委員として教育活動に尽力されました。また鷹栖国際交流協会の役員などを歴任されています。

表彰式は12月定例会開会前に議場で行われました。



条例
期末手当を変更
職員給与の条例

人事院勧告に準じ、町職員、町議会議員、町特別職員の給与額、期末手当の支給割合を改正しました。

補正
条例改正に伴い
変更分を補正

町議会議員の期末手当変更分を補正しました。補正額は13万円です。

議会のうごき

本会議前に議員協議会、各常任委員会、議会運営委員会を開催しています。活動の詳細はウェブページでも確認いただけます。



活性化委員会

老人会と「地域を語ろう会」

「生涯活躍社会と私」というテーマで鷹栖町老人会役員の方々と語り合いました。

10/17



「地域を語ろう会報告紙」発行

8月から9月にかけて各地区で、10月に老人会と開催した「地域を語ろう会」で出されたご意見や開催の経緯、一般質問の内容をまとめた報告紙を発行しました。2月号の町広報紙に折り込まれていますので、あわせてご覧ください。

【172号の内容の訂正】
記載に誤りがございましたので、訂正し、お詫び申し上げます。

17ページ 第5回臨時会

(誤) **契約** 低利な資金を活用
ごみ収集車購入

新しく4トン平ボディトラックを備荒資金組合の事業を活用し、低利で購入します。

(正) **契約** ごみ収集車購入
指名競争入札で

4トン平ボディトラックを指名競争入札により購入します。

備荒資金組合の事業を活用して購入したのは総合行政システム一式でした。ごみ収集車は指名競争入札により購入しました。

今後も町民の皆様に分かりやすい議会報づくりに取り組みますので、ご愛読よろしくお願ひ致します。

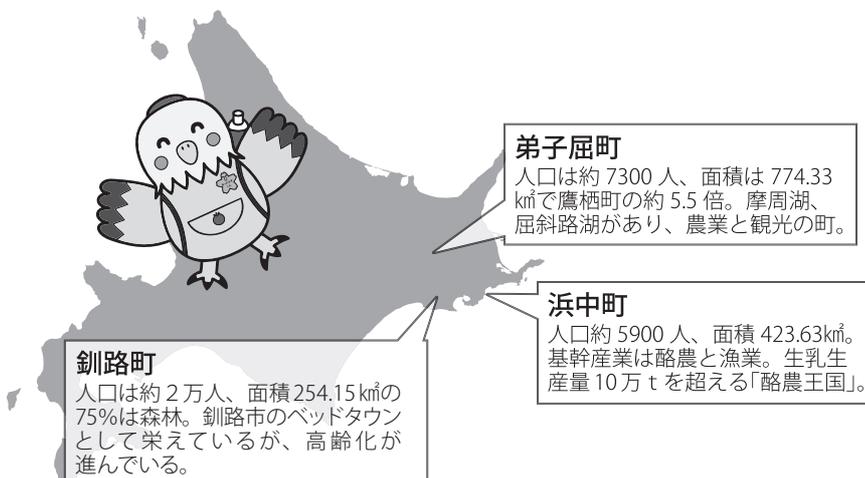
先進地3町を視察

所管事務調査を実施

10/24

10/25

10/26



鉦路町

人口は約2万人、面積254.15km²の75%は森林。鉦路市のベッドタウンとして栄えているが、高齢化が進んでいる。

弟子屈町

人口は約7300人、面積は774.33km²で鷹栖町の約5.5倍。摩周湖、屈斜路湖があり、農業と観光の町。

浜中町

人口約5900人、面積423.63km²。基幹産業は酪農と漁業。生乳生産量10万tを超える「酪農王国」。

平成30年10月24日から26日の3日間、両常任委員会合同で所管事務調査を行いました。

12月定例会ではそれぞれの委員長が調査報告を行いました。

浜中町 充実した新規就農者支援

農協、町、関係団体の連携により総合的な新規就農者の支援システムが確立されており、**新規就農者は全体の3割にもなります。**

酪農ヘルパー、コントラクターなどで農作業の効率化を図り、酪農技術センターで乳牛、土地、飼料などのデータを管理・分析し生産支援を行っています。研修施設の就農者研修牧場

では住宅も提供しています。

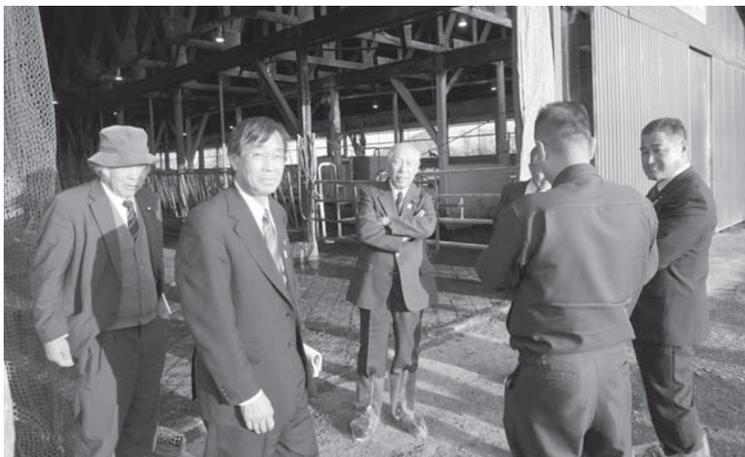
新規就農時にはJA浜中町独自のリース牧場就農システムがあり、牧場一式を借り受けしリース料を支払い経営（実践）します。リース料の半額は5年間、浜中町が助成し、牧場一式の買取り後は、5年間の固定資産税相当額の助成などの支援を提供しています。

本町でも、町主導による新規就農者受入が始まりました。本町は稲作が主であるため、支援のあり方は同じにはなりません。総合的な支援システムの確立が急がれます。

新規就農者に「鷹栖町で農業生活してよかった」と言われることが、次の新規就農者の呼び込みにつながると考えます。



JA 浜中町代表理事会長 石橋榮紀氏からお話を聞くことができました



研修牧場を視察

農業・エコ・介護

総務文教・経済福祉常任委員会合同

弟子屈町 給食センターに雪氷冷熱

弟子屈町では自然エネルギー利用や省エネルギーの推進など、町全体で目標を設定し二酸化炭素削減を指しています。

小中高を通じた環境学習にも取り組んでおり、弟子屈中学校は校舎、体育館、給食センターの建物を一つに集約し、自然光を取り入れるなどエコスクール化を進めています。

今回は雪氷冷熱エネルギーを補助冷房として活用している給食センターのシステムを調査しました。

雪氷冷熱エネルギー活用事業実現の大きな要因として、閉鎖していたプールを貯雪庫・機械室として再利用できたことがあります。

また年間の維持費約150万円に対し、削減できる電気代は約30万円ですが、教材としての役割も大きいとのこと。

鷹栖町の地域特性を活かした再生可能エネルギーの本格的な調査研究を早急に取り組んでいく必要があると考えます。



わーい 涼しい風が来る♪

釧路町 ボランティアにポイント

釧路町では介護支援に関わるボランティア活動を行った原則65歳以上の方に

対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与する介護支援ボランティア制度に取り組んでいます。

高齢者がボランティア活動を通じて地域貢献すること、および高齢者の介護予防を推進し、あわせて生き生きとした地域社会をつくることを目的としています。

ボランティアの活動場所は、ほとんど本町でいうところのサロンであり、介護保健施設でのボランティア



活動は、需要と供給があわず取り組めていないのとこととでした。

本町では各種イベントにも多くのボランティアが参加し、様々な活動に取り組んでいます。

しかし、顔ぶれがいつも同じということが多く見受けられます。助け合い・支え合いの地域社会をつくるためにも、新しいボランティア参加者をつくることは重要であり、そのためにも、ポイント付与制度は参考になると考えます。

研修会

10/23

上川管内町村議会議員研修会

「豆腐バカ」雲田氏の熱弁



現在はしらたきの販売に力を入れている雲田康夫氏

よいものを見出し、後押しすることが政治の役割ではないかとも。そして一番大切なことはどれだけ情熱をもてるか。情熱偏差値であるという言葉で締めくくられました。

次に北海道物産展で国内

トップの売り上げを誇る鹿児島県のデパート・山形屋のカリスマバイヤー・日高博昭氏が、どのようにお客さんの期待を上回る物産展を作り上げているのか講演。流通に乗せるには数も必要、ある程度の規模の第三者が認証することでブランドになるという、これからの地域ブランドを考える上で重要な考え方も示されました。

研修会

11/6

えのき培養センター視察

上川中央部5町議会議員研修会

北海道のえのき茸の85%を生産している愛別町えのき培養センターを視察しました。

生産コストの低減、栽培機械の有効活用などのため新たな生産組織を作り、培養センター方式を取り入れ、生産施設への投資を抑制し、生産体系整備と栽培仕組みの改善、生産基盤の充実を図った経緯を実際の施設を見学しながら説明していただきました。

その後、情報交換会を行いました。



代表理事宮田哲雄氏による説明

議会報「孔雀草」172号

モニターのみなさんからの意見

表紙の目次がもっと大きくてもよいのでは。写真の邪魔にならない程度に。

今回は写真の都合で目次はいつもより小さくなっていますが、どんなバランスがよいのか他市町村の例も参考にしながら検討します。

人事の記事などは、人柄や経歴などの紹介があると親しみをもちやすいのでは。

さっそく簡単な経歴について掲載するようにしました。

「今回の表紙」の説明がよかった。

ありがとうございます。しばらく続けます。

「地域を語ろう会」の参加人数が少ないことがわかった。声を掛け合って参加したいと思えます。

「地域を語ろう会」の写真。顔を出さずなら参加できないと尻込みしてしまう人もいるのでは。

写真については参加者のみなさんに確認をとって掲載しましたが、そのような配慮も必要と考えます。

多くの方にご参加いただけたら幸いです。

3名の議会報モニターのみなさんにアンケートにお答えいただいています。ご意見ありがとうございました。

新年度予算審査

傍聴お待ち
しています



休憩中にはコーヒーなどもお飲みいただけます

3月定例会は**3月11日(月)**
~**15日(金)**
※14日(木)は休会

町の1年間の予算を審議する予算審査特別委員会が開かれ、新年度予算について審議をします。
多くの方の傍聴をお待ちしています。

- 日程は変更になる場合があります。
- 傍聴の際は、住所と名前をご記入いただきます。
- 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

今回の表紙

1月13日に「はたちのつどい」

メロデーホールではたちのつどいが開催され59名の新成人が参加しました。

懐かしい写真の

上映もあり会場は盛り上がっていました。

新成人のみなさん、おめでとございます！



「20歳を祝い隊おじさん&おばさんの会」のみなさんが設置したバルーンの前では多くの新成人が記念撮影していました。



代表の坂根玲子さん

“どこに居ても元気に笑顔で過ごしてね!いつでも応援しているからね”という想いで作っています。

くじやくぞうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

- 問1** 今年度6回目の一般会計補正予算の総額は〇〇〇〇万円
- 問2** 今年の鷹栖町「はたちのつどい」に参加した新成人は〇〇人
- 問3** 10月の所管事務調査では弟子屈町の〇〇〇〇エネルギーの活用などを調査しました。



この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) 前回は11名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.lg.jp

《しめきり》

平成31年2月28日(木) 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。



祝成人！
春からは農業者に！

照井 元琢さん
(北成地区在住)



「はたちのつどい」では司会を務められました

成人を迎えて

私は鷹栖町で生まれ育ち、高校と短大では農業に関する様々なことを学んできました。春から実家に就農し農業者になります。そして、新成人を迎え自分自身の一つの区切りができました。こうして成人を迎えられたのは様々な人の支えがあり、足踏みすることなく進むことができたからだと思います。まずは、そんな支えてくださった方々に「ありがとう」を伝えたいです。また、自分が大切にしたい言葉がありますので紹介します。

「朝目覚める。あなたの財布には、まっさらな24時間がぎっしりと詰まっている。誰もあなたから時間を取り上げることはできないし、盗むこともできない」
～アーノルド・ベネット～

新成人の皆様は今後、様々な場面で試練や困難にぶつかると思いますが、自分自身の力を信じ限界を乗り越えていってほしいと思います。

■ わたしの一言 ■

今までとこれからのこと

私は農家の長男として生まれましたが、学校を卒業してからは他の仕事をしていました。一時は本州で働いていましたがリーマンショックがあったりして、それまでの仕事を辞めて鷹栖に帰ってきました。

それから親元で就農して今に至りますが、最近思うのは農家戸数の減少のことです。私は8区で営農していて、10年後、20年後には2、3件で地区の田などを受け持つことになると思います。その為、将来は今までよりも大面積を耕作することになるので新しく直播にチャレンジしています。平成30年度は天候不順で不作でしたが、来年度は新しい品種が出てくるので期待しています。

それと、戸数減少に対しては新規就農者を呼ぶことも大事だと思います。その点、「あったかファーム」に期待していて、私の地区にもそこからの人が来て、営農してくれるようです。あとは将来の離農農家と新しく農業をしてくれる方とのマッチングを早め早めにしていくことが大事だと思います。

水稻直播栽培にチャレンジ中！

村田 真一さん
(北野・第8区町内会)



水稻直播作業の様子(村田さん撮影)

